

被災資料再生の今

共同展



～過去と未来をつなぐ・資料から学ぶ～



2020年 1月11日(土) — 2月24日(月)

開館時間=9:30~16:30(入館は16:00まで) 休館日=月曜日(1月13日と2月24日は開館し、翌日休館)

入館料=一般310円(140円)、学生140円(70円)、高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体割引料金

主催=津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会、岩手県立博物館

会場=岩手県立博物館 特別展示室 住所=〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34

電話=019(661)2831 ファクス=019(665)1214

岩手県立博物館

本展覧会は、
令和元年度文化芸術振興費補助金
(地域と共創した博物館創造活動支援事業)
の助成を受けて実施する事業です。

 文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

東日本大震災では、岩手県内でおよそ50万点にも及ぶ文化財が津波で被災しました。発災直後から被災文化財の救援活動が開始されましたが、津波で被災した文化財の再生は国際的にも初めての試みで、現在も試行錯誤を繰り返しながら続けられています。そして、この活動は資料の物質的な再生のみならず、文化の証としてその学術的価値を再確認し将来へ伝えていく、総合的な取り組みでもあります。

この展覧会では、資料再生のために構築された方法と再生の現状、古文書、漁撈用具、押し葉標本、絵画などから垣間見える三陸の文化や先人の業績の一端をご紹介します。

展示構成と主な展示資料

1. 過去と未来をつなぐ

展示資料：旧陸前高田市民体育館大時計（陸前高田市立博物館蔵）

2. 文化をつなぐための挑戦 ―紙製資料安定化処理の今―

津波被災資料再生の核となる安定化処理方法の構築は、試行錯誤を繰り返しながら進められてきました。最善の方法を目指し、その挑戦は今も続いています。最近構築された安定化処理方法や、新たな技術的課題など、安定化処理の今を紹介します。

3. 資料から学ぶ(1) ―古文書・絵図・写真―

再生が終了し公開可能となった古文書、絵図、写真プリントと、その学術的情報を紹介します。

展示資料：吉田家文書及び気仙郡村絵図（個人蔵・岩手県指定文化財）、前川家文書（個人蔵）、盛合家文書（個人蔵）、鳥羽源藏コレクション写真プリント（陸前高田市立博物館蔵）など。

4. 資料から学ぶ(2) ―国登録有形民俗文化財「陸前高田の漁撈用具」―

近現代における広田湾の漁撈を伝える「陸前高田の漁撈用具」。再生された資料の中から、春から秋に黒潮と共に北上する、あるいは秋から冬に親潮と共に南下する魚類を取り上げ、漁撈のようすをイラストで紹介します。

展示資料：陸前高田の漁撈用具（陸前高田市立博物館蔵・国登録有形民俗文化財）

5. 資料から学ぶ(3) ―岩手博物館の太陽・鳥羽源藏 新発見資料を中心に―

陸前高田市出身の博物学者・鳥羽源藏（1872～1946）は「岩手博物界の太陽」と称されるほど多方面に功績を残した人物です。彼が収集した押し葉標本の中に、植物学上貴重な資料が多数存在することがわかってきました。その一部を紹介します。

6. 挑戦はつづく ―再生方法の模索・美術品―

安定化処理が困難な資料の一つに、絵画があります。そのうち、脱塩方法が構築されたアクリル画について、救出から応急処置、安定化処理までの流れを紹介し、今後の課題を示します。

展示資料：行木正義「黒の思考」、「作品79」、「作品83」

ミニプラザ展示 3.11後～ 頻発する自然災害に対して

東日本大震災の後も、全国で自然災害が頻発しています。2016年8月30日に襲来した台風10号によって、岩手県岩泉町では町教育委員会が所管する近世から近代初頭の古文書が、遠野市では市立図書館が所蔵する書籍類が被災しました。この対応には東日本大震災での経験が活かされ、文化庁、岩手歴史民俗ネットワーク等の支援のもと、水損資料を迅速に救出し安定保管しながら、再生が進められています。本展では被災から再生に至るまでの歩みを、再生された実物資料とパネルを使って解説します。

関連事業

展示解説会（要入館料）

1月19日（日）14時30分～15時30分

2月2日（日）15時15分～16時15分

特別講演会（聴講無料）

「再生された近世文書にみる三陸のくらし」（仮題）

東海大学准教授 兼平賢治氏

2月2日（日）13時30分～15時

岩手県立博物館

住所＝〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34

岩手県立博物館への交通アクセス

路線バスをご利用の場合

盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば（旧ななく前）発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗り、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分、
東北自動車道 滝沢ICから約20分

